



バンコク便り



1. はじめに

9月上旬、タイ国内での新型コロナ感染者が約100日ぶりに確認されました。ここまで抑え込みに成功してきましたが、最近は店舗等への入退店時のQRコード管理や検温などの対応が、以前に比べ若干甘くなってきているようにも感じます。また、多くの人が集まる政治集会が増えてきました。治安は問題ないですが、人が集まる機会が増えているため感染防止対策とともに安全な行動を心掛ける必要があります。

2. 当地ビジネス情報

(①日本発のタイ行き特別便が増加)

在京タイ大使館HPによると、タイ国籍を有しない人を対象とした日本発特別便が10月は14便予定されています。これまでは予約開始直後に満席となっていました。増便により予約状況に余裕が出てきているようです。引き続き入国許可証、PCR検査、健康証明書等の取得や指定施設での14日間の隔離措置が義務付けられています。日本からの渡航者は確実に増えてきています。

そうした中、タイでは、最大270日滞在できる特別観光ビザの発給が閣議で承認され、10月より運用開始の方向で調整中です。ただ、隔離義務は残るなど、実際の運用には多少、障害があると言えます。海外からの新型コロナ流入を心配する声も聞かれる一方、観光客が来ない状態が続けば多くのサービス業への影響が心配されます。

(②食品総合展示会 THAI FEX 2020 開催)

9月22日～26日までバンコク郊外展示場にて東南アジア最大級の食品総合展示会「THAI FEX2020」が開催されました。例年に比べ小規模でジャパンパビリオンの設置もありませんでしたが、予想以上に賑わっていました。特に日本食品（食材や調味料）や冷凍ステーキなどには多くの人が集まり、実際に購入している人もいました。タイには様々な飲食品が世界各国から輸入される中、「日本産の良い商品だから売れる」という考えでは販路が限られ、値段や見た目などの特徴がない商品は競合品に埋もれてしまいます。最近のタイでは外食の機会が減る一方で、スーパーなどで食材を買って自宅で調理する人が多くなっているようです。この状況が続くことも予想されるため、多くの人が入力できる家庭用の商品などが注目されてくるのでしょうか。



試食用ステーキの調理風景



日本食品ブースに集まる人々

3. 現地トピックス

(在タイ外国人向け国内旅行フェア)

9月13日～15日にかけてバンコク中心部の百貨店にてタイ政府観光庁主催の在タイ外国人向け国内旅行フェアが開催されました。会場にはタイ人も多く来場しており、タイ国内旅行の機運はかなり高まっています。年末年始は日本で過したい在タイ日本人も多いですが、今年の帰国は諦め、国内リゾート旅行を検討しているようです。

9月22日の閣議では11月中旬に特別休暇の設定や12月の祝日を変更し4連休とする決定がされ、国内観光の活性化を図ろうとしています。早速、旅行の計画を立てている人もいますが、渋滞や混雑が予想されるため、敢えて外出を控える人もいます。



ビーチリゾートを検討する在タイ外国人

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)